



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 エスケー化研株式会社
 コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 實
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	44,781	2.9	5,448	△4.2	5,225	△22.7	3,489	△21.1
27年3月期第2四半期	43,538	△0.3	5,687	△0.9	6,757	9.0	4,421	13.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,587百万円 (△8.4%) 27年3月期第2四半期 3,918百万円 (△23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	255.21	—
27年3月期第2四半期	320.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	109,037	87,820	80.5	6,459.28
27年3月期	106,907	86,368	80.8	6,305.94

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 87,820百万円 27年3月期 86,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.3	13,300	14.8	14,500	2.3	9,930	6.9	726.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	15,673,885 株	27年3月期	15,673,885 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	2,077,804 株	27年3月期	1,977,522 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,671,557 株	27年3月期2Q	13,802,375 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(会計方針の変更)	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策等による下支え効果もあり、輸出関連を中心に企業収益の改善など、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国経済の減速懸念など、景気動向を左右する国際的な不安要素も見受けられ、先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、公共投資、耐震改修促進法による公共・民間建物の改修需要、首都圏を中心とした大規模再開発が予想されておりますが、一方、建築現場の労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築資材や人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅ストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は447億81百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。利益面におきましては、人員の増強に伴う人件費の増加等により、営業利益は、54億48百万円（同4.2%減）、経常利益は、52億25百万円（同22.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、34億89百万円（同21.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は413億39百万円（同4.0%増）と前四半期連結累計期間に比べて15億94百万円の増収となりました。セグメント利益は63億16百万円（同2.8%減）と前四半期連結累計期間に比べて1億84百万円の減益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏では再開発事業における受注が拡大しておりますが、その他の地域では受注が伸び悩み、売上高は23億2百万円（同10.6%減）と前四半期連結累計期間に比べて2億72百万円の減収となりました。セグメント利益は2億9百万円（同10.5%減）と前四半期連結累計期間に比べて24百万円の減益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は11億39百万円（同6.6%減）と前四半期連結累計期間に比べて80百万円の減収となりました。セグメント利益は1億4百万円（前年同四半期連結累計期間は2百万円）と前四半期連結累計期間に比べて1億1百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて21億29百万円増加し、1,090億37百万円（前連結会計年度末比2.0%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金18億78百万円（同3.2%増）、建物及び構築物1億49百万円（同3.0%増）、未成工事支出金1億37百万円（同309.7%増）、減少した主なものは、建設仮勘定2億55百万円（同77.7%減）、流動資産の繰延税金資産1億30百万円（同16.0%減）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて6億77百万円増加し、212億16百万円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。

増加した主なものは、短期借入金10億円（同49.3%増）、支払手形及び買掛金4億66百万円（同7.8%増）、減少した主なものは、流動負債のその他3億36百万円（同20.0%減）、賞与引当金2億53百万円（同17.0%減）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて14億52百万円増加し、878億20百万円（前連結会計年度末比1.7%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金25億98百万円（同3.1%増）、減少した主なものは、自己株式12億44百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成27年5月11日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,036	59,915
受取手形及び売掛金	21,154	21,265
商品及び製品	2,243	2,250
仕掛品	1,066	971
未成工事支出金	44	181
原材料及び貯蔵品	4,532	4,589
繰延税金資産	820	689
その他	549	580
貸倒引当金	△27	△14
流動資産合計	88,419	90,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,954	5,104
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	1,041
土地	8,355	8,437
建設仮勘定	328	73
その他(純額)	92	108
有形固定資産合計	14,741	14,763
無形固定資産	1,263	1,221
投資その他の資産		
投資有価証券	15	14
繰延税金資産	284	262
退職給付に係る資産	434	521
その他	1,908	1,983
貸倒引当金	△160	△159
投資その他の資産合計	2,482	2,622
固定資産合計	18,487	18,607
資産合計	106,907	109,037

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,965	6,431
短期借入金	2,030	3,030
未払金	5,263	5,184
未払法人税等	1,761	1,612
賞与引当金	1,486	1,233
役員賞与引当金	85	42
製品保証引当金	45	43
その他	1,683	1,347
流動負債合計	18,321	18,925
固定負債		
繰延税金負債	40	40
役員退職慰労引当金	1,049	1,064
退職給付に係る負債	73	79
その他	1,052	1,105
固定負債合計	2,217	2,290
負債合計	20,538	21,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	84,990	87,589
自己株式	△7,004	△8,248
株主資本合計	83,785	85,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	2,608	2,704
退職給付に係る調整累計額	△27	△25
その他の包括利益累計額合計	2,583	2,681
純資産合計	86,368	87,820
負債純資産合計	106,907	109,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	43,538	44,781
売上原価	30,165	31,072
売上総利益	13,373	13,708
販売費及び一般管理費	7,686	8,259
営業利益	5,687	5,448
営業外収益		
受取利息	80	154
受取配当金	0	0
仕入割引	42	38
為替差益	916	—
雑収入	40	29
営業外収益合計	1,079	222
営業外費用		
支払利息	4	10
売上割引	0	0
為替差損	—	430
雑損失	4	4
営業外費用合計	9	446
経常利益	6,757	5,225
税金等調整前四半期純利益	6,757	5,225
法人税、住民税及び事業税	1,915	1,584
法人税等調整額	420	151
法人税等合計	2,335	1,735
四半期純利益	4,421	3,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,421	3,489

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	4,421	3,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△507	95
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△503	98
四半期包括利益	3,918	3,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,918	3,587
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,757	5,225
減価償却費	257	297
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	△718	△253
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△42
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	14
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
受取利息及び受取配当金	△80	△154
支払利息	4	10
為替差損益(△は益)	△817	720
固定資産除売却損益(△は益)	3	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,481	△179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△180	△93
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,205	504
その他	△587	△832
小計	5,874	5,210
利息及び配当金の受取額	75	102
利息の支払額	△4	△11
法人税等の支払額	△3,388	△1,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,556	3,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,941	△25,362
定期預金の払戻による収入	14,147	15,645
固定資産の取得による支出	△1,138	△348
固定資産の売却による収入	0	0
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△2	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,935	△10,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30	1,030
短期借入金の返済による支出	△30	△30
自己株式の取得による支出	△19	△1,244
配当金の支払額	△827	△889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△846	△1,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△83
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,183	△7,835
現金及び現金同等物の期首残高	29,847	30,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,663	22,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式8,000株、平成27年8月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式50,000株、平成27年9月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式40,000株及び当第2四半期連結累計期間において単元未満株式2,282株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,244百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が8,248百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,745	2,574	42,319	1,219	43,538	—	43,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	39,745	2,574	42,320	1,220	43,540	△1	43,538
セグメント利益	6,501	234	6,736	2	6,739	△1,051	5,687

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,052百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,339	2,302	43,642	1,139	44,781	—	44,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	41,339	2,302	43,642	1,139	44,781	△0	44,781
セグメント利益	6,316	209	6,526	104	6,630	△1,182	5,448

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,182百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。